


平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 1	中原区役所コンサート事業	継続	平成5年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所地域振興課		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	ランチタイムにクラシックやジャズ等の、幅広く質の高い音楽を気軽に楽しんでもらうことを趣旨に実施する。特に、幼児を持つ母親から一時保育を受付けることや、普段遠出が難しい高齢者に身近な場所にてコンサートを提供できることなどから、親しまれる区役所を目指すとともに音楽のまちづくりを推進する。					
予算額	1,895,000(円)	決算額	1,894,760(円)	不用額	240(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		中原区役所5階会議室にて、5月、6月、8月、10月、12月、3月にランチタイムコンサートを開催した。 6月と8月にはオペラ歌手や室内管弦楽団のメンバーを招いたクラシックコンサートを提供し、その他の開催日には民族楽器による生演奏・歌謡曲など幅広い音楽を提供した。 また、ボランティアを利用した一時幼児保育を受付けることで、普段気軽にコンサートに足を運ばない客層が多く見られた。			
	(コンサート会場の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	年6回	参加 人数等	各回約300人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
中原区役所コンサートは、「音楽のまち」を推進する区の事業である。また、年度末に実施したアンケートでは、実に8割近くの観客がリピーターであることや遠くから足を運ぶ観客もいることが判明した。こうした事実から、当事業自体が親しみのある区役所づくりや音楽のまち推進に貢献しているということが分かる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今後もアーティストへの依頼やプログラム構成などは専門家と協議、契約する方向で実施するが、来客者の声を元にさらに区民の要求に沿ったコンサートを提供できるようにアンケート等を的確に実施していく。

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2-2	中原区音楽ライブ事業	継続	平成11年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )		関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	アマチュアバンドやダンスユニットが大舞台で日頃の活動の成果を発表し、音楽を通じて幅広い年齢層の人々が交流することを目的として区民の手作りによる音楽ライブを開催する。また、それにより「音楽のまち・かわさき」を推進する。 また区民が音楽に親んでもらう機会を増やすと共に、3月の本番 In Unity2008 を身近に感じてもらうことを目的に NAKAHARA MUSIC FES を開催する。					
予算額	1,800,000(円)	決算額	1,796,891(円)	不用額	3,109(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		NAKAHARA MUSIC FES については会場変更など臨機応変に対応し、区民祭に合わせて市民ミュージアムで1回、中原区役所で1回行った。3月にエポックなかはらで In Unity2008 を開催した。 夏頃から、ホームページの掲載、マスコミへの宣伝、成人の集いでのPR、出演者を集めてのビデオ撮影会、フラッグ・チラシの作成等全てを手作りで行い、少しでも区民に親しめるイベントとなるよう取り組んだ。			
	(子どもたちの舞台の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	10月21日、11月25日、3月2日	参加 人数等	1,200人 (3回延べ人数)

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
In Unity2008 は、9回目であり地域でも認知度の高い音楽ライブである。「ダンスも歌も楽しめる」、「ほとんどのグループが川崎市内で活躍している地域密着型」などの特色を持っており、そのような音楽ライブを協働事業として若者と一緒になり実施することは大変有意義である。 また、NAKAHARA MUSIC FES を区民祭に合わせて開催するなど、地域に密着した音楽イベントとして開催する方向性を探るなど新たな取り組みを行えた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成20年度の In Unity2009 は10回目の節目にあたり、2日間開催実施を試みるなど新たな展開を考えていく。 また、新たな場の提供に向け、区内施設の調査など地域や出演者を巻き込んだ取り組みも模索していく。

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 3	中原街道歴史シンポジウム事業	継続	平成15年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	NPO 法人日本伝統文化福祉振興協会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	川崎、東京、平塚の郷土史研究家や歴史学者らと交えて中原街道の歴史についてのシンポジウムを開催し、徳川幕府の重要な流通路としての役割を果たしていた中原街道の歴史を再考することにより、区民の郷土意識を醸成することを目的とする。 構成内容は学識経験者による基調講演とパネルディスカッション及びアトラクション。					
予算額	700,000(円)	決算額	700,000(円)	不用額	(円)	
不用の理由						
結果・成果			中原市民館大ホールにて、[江戸時代の旅と川崎宿]をテーマとして「江戸時代の旅と街道の役割」「川崎市内の道標に見る旅」の基調講演に始まり、4名の大学教授・講師をパネリストとした講義を開催した。また、アトラクションで伝統継承の技の記録として「日本刀」という映画が上映された。			
	(シンポジウムの様子)		実施時期 (開催日/回数等)	10月6日 1回	参加 人数等	250人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
再開発等が進み新しい建物が増えている中原区にあって、小杉御殿町及び小杉陣屋町の中原街道沿いは江戸時代の街道筋のたたずまいを一部残しており、シンポジウムにおいて中原区に関わる歴史について当時の暮らしや社会情勢・時代背景を学ぶことは郷土意識の醸成に寄与する地域に密着した事業といえる。 専門家を講師に招くことにより、普段見慣れた風景や建物の歴史が再認識される新たな発見の場となると共にアトラクションを通じて楽しく江戸文化の紹介がなされ、中原区の魅力発掘にも寄与している。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	中原街道時代祭りと共に定着し、区の歴史を考えるうえで欠かせない事業である。 シンポジウムについては、パネリストや講師選びに工夫をすることにより内容に変化をもたせ、幅広い層に向けた歴史紹介の場としていく。

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 4	中原街道時代まつり支援事業	新規	平成19年	地域振興課

### 1 事業概要

事業実施主体	NPO法人 日本伝統文化福祉振興協会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容	教育委員会 市民ミュージアム 会場貸し			
目的及び内容	区名の由来といわれる中原街道の歴史・文化を通じて、区民の郷土意識の向上を図ることを目的に開催される「中原街道時代まつり」の一部アトラクション(放鷹術実演)を協働推進事業として、イベント実施することで支援する。 当日行われる放鷹術は、諏訪流放鷹術保存会により実演される日本でも数少ないイベントであり、希少価値の高いものである。					
予算額	400,000(円)	決算額	400,000(円)	不用額	(円)	
不用の理由						
結果・成果	 <p>(放鷹術の様子)</p>		<p>「中原街道時代まつり」としては、過去6回実施され知名度もあるイベントである。放鷹術は18年度より実施されていて、協働事業としては19年度から実施した。 当日は、大勢の観客が会場(陸上練習場)を取り囲み、鷹が獲物を獲る実演を見ることができ、伝統文化に直接触れたというような感想が多く聞かれた。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	5月27日 1回	参加 人数等	まつり全体で 10,000人		

### 2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>「中原街道時代まつり」は、非常に多くの観客が訪れる知名度の高いイベントである。その中で、伝統文化としての放鷹術の実演は、小杉御殿や小杉陣屋などの地名に残る中原街道の歴史として、当時の「将軍のお鷹狩り」を連想させ、先人の歴史や街道筋の生い立ちに触れる格好の機会となっている。</p> <p>また、再開発等で新しい町並みや人が増えている中、歴史を切り口とした郷土意識の醸成や中原区の魅力発信という点で重要なイベントである。また、会場である市民ミュージアムとの事前打合せ等でイベント全体について事前に把握する必要がある。</p>

### 3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成19年度が初めての協働推進事業として放鷹術を開催した。鳥の繁殖時期ということもあり、本来の鷹狩り実演とは違った部分もあったが、希少価値の高いアトラクションを区民に紹介できることは意義がある。

### 区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 5	中原区民総ぐるみスポーツ大会	継続	昭和50年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会		対象者	区内在住の小学生男女及び成年女性		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容	なし			
目的及び内容	<p>区民とのパートナーシップで、誰もが参加できるスポーツ大会を実施することにより、区民相互の親睦を深めるとともに健康で明るく住みやすいまちづくりを推進する。</p> <p>等々力緑地催し物広場において、中原区内の小学生男子・女子、成年女性の3部門のドッジボール大会と自由参加制のスポーツラリーを開催。種目では、ドッジボール以外にも3種類のスポーツラリーがあり、こちらはゲーム感覚で楽しめるスポーツでドッジボールに参加しない小学生でも自由に参加できるようにしている。</p>					
予算額	750,000(円)	決算額	750,000(円)	不用額	0(円)	
不用の理由						
結果・成果	 <p>(総ぐるみスポーツ大会当日の様子)</p>		<p>大会では、子供から大人までドッジボールやスポーツラリーを通じて交流を深めることができた。また、運営を行なっている諸団体(子ども会役員、青少年指導員、体育指導委員等の方々)同士の交流も深めることができ、親睦にもつながった。</p> <p>大会に参加したチームからも、また参加したいとの声が多く寄せられた。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	平成19年10月 開催(年1回開催)	参加 人数等	約1000名 (スポーツラリー含)		

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>業務委託先である中原区民総ぐるみスポーツ大会実施委員会は、町内会・子ども会・青少年指導員会・体育指導委員会等の地元各種団体で構成される団体であり、運営をボランティアが担っており、協働の推進の観点から評価できる。</p> <p>年々参加者も増加しており、毎年約1000名の区民が参加するイベントとなっているため、区民の参加意欲も高く、区民の健康増進ならびに区民相互の親睦を深めることもできたことから、おおむね目標は達成できた。</p>
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<p>見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する</p>	<p>区内の各町会や区内小学校に、広報物を配布することにより参加者の確保を図る。また、スポーツラリーについては景品のコストを上げずに、より魅力あるものにするよう検討する。運営については、町会、子ども会、青少年指導員会、体育指導委員会等の協力を得ながら行なっており、今後も同様に協力を得ながら効率的に運営を行なう。</p>

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 6	中原区民多摩川ロードレース「マイペース」大会	継続	昭和48年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区民多摩川ロードレース「マイペース」大会実施委員会		対象者	区内在住・在勤の小学生高学年以上の男女		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容	なし			
目的及び内容	多くの区民に親しまれている「ランニング」を通じて、健康ランニングの普及と区民の健康増進を図ることを目的とする。 小学生高学年男女3kmの部、中学生以上5kmの部、中学生以上10kmの部以上の3部門を多摩川ハーフマラソンコースで開催。					
予算額	400,000(円)	決算額	400,000(円)	不用額	0(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		大会当日は、451名の区民が参加し、区民の健康増進に資することができた。特に小学生を中心とした若年層の参加者が昨年より63名増加し、健康ランニングの普及を図ることができた。			
	 <p>(ロードレース大会当日の様子)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	平成19年12月 実施(年1回実施)	参加 人数等	451人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>昭和48年から続いているこの大会は、毎年参加している区民も多く、恒例の大会となっているため、今後も必要な事業である。また、幅広い年代の方が参加していることからわかるように区民の大会に対するニーズは高い。参加者に配布する、ゼッケン等の記念品代の単価を下げるなどして調整するなど、予算額の中で事業を執行している点も評価できる。</p> <p>また、近年、健康に対する注目度も高く、その中で健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれている「ランニング」を題材としているため、自己の励みとしている参加者も多い。小学生の参加者も増えていることから、今後も健康スポーツの発展には、重要な事業といえる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	趣味及び健康のためにランニングを行なっている区民は多く、参加者数は毎年約500名にも上り、区民の大会に対するニーズが高いため、今後も事業を継続する必要があると思われる。運営については、町内会・体育指導委員・青少年指導員・子ども会・交通指導員等の協力を得ながら行なっており、今後も、これまで同様に各団体の役員 の協力を得ながら効率的に運営を行なう。

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 7	区長杯製作・配布事業	継続	平成2年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	特定の地区に偏らず、区全体で楽しめるスポーツレクリエーションを行なう団体		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	区民の健康増進と相互の親睦を深めるとともに、スポーツの振興発展を目指し、明るく住み良いまちづくりの推進を図ると認められる行事に対し、中原区長杯として相応しい区長杯を製作・贈呈している。				
予算額	282,000(円)	決算額	237,363(円)	不用額	44,637(円)
不用の理由	各賞の単価を下げたため。19年度開催予定の大会(1大会)が諸事情により中止になったため。				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>		平成19年度は、計19のスポーツ大会に29個の区長杯を贈呈した。区長杯製作・配布事業は事業開始から17年が経過し、区民にも区長杯事業は浸透してきている。今年度も新規スポーツ大会に区長杯を贈呈した。団体からは、区長杯を贈呈したことによって大会が盛り上がったとの声を数多くいただいた。		
			実施時期 (開催日/回数等)	通年 (年約20回)	参加 人数等
		(スポーツ大会での区長杯受賞者)			

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区長杯を配布した一部の団体では、トロフィーを毎年再活用して持ち回り制にするなどの工夫がある。これにより多くの団体に区長杯を贈呈できるようになった。また、1個あたりの単価を下げるなどして効率的に作成・配布している。</p> <p>区長杯を贈呈したスポーツ大会などでは、区民相互の親睦を深められたとともに大会の活性化を促進したことから、おおむね目標は達成できた。</p> <p>区内の特定の地域だけではなく、区全体の大会に対して区長杯を贈呈することで、区長杯事業の目的が地域に浸透してきている。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	区長杯は、特定の地域におけるスポーツレクリエーション行事に贈呈するのではなく、区全域における行事に贈呈している。近年、区長杯の贈呈依頼件数は増加傾向にあり、今後も新規に区長杯の贈呈を依頼してくる団体も考えられるので、トロフィーの単価を下げるなどして対応していく。区長杯に対するニーズは高い。区長杯を贈呈することにより各スポーツ行事を活性化することができ、今後も事業を継続していくことは必要だと思われる。

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
2 - 8	中原区青少年吹奏楽コンサート	継続	平成2年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区青少年吹奏楽コンサート実行委員会		対象者	中原区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )		関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	音楽を通じ、情操豊かで創造性あふれる青少年の育成を図り、校外生活の善導に資するとともに、文化の薫り高い音楽のまちづくりを推進することを目的として、中原区内の中学校・高等学校吹奏楽部を対象として吹奏楽コンサートを開催している。					
予算額	2,100,000(円)	決算額	2,038,617(円)	不用額	61,383(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		<p>青少年に日ごろの練習成果の発表の場を与え、順位を競うコンクールとは違った雰囲気、生徒たちが楽しみながら演奏をすることができた。また、スタッフに中・高校生を加え、実行委員と一緒にコンサートを運営することができた。</p> <p>学校として出演できない場合でも、希望する生徒を募っての合同演奏を実施する工夫をしており、総勢83人による合同演奏は、出演者・観客に好評であった。</p>			
	(演奏の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	平成19年11月3日 (土・文化の日)	参加 人数等	約1,400名

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>業務委託先である実行委員会は、青少年指導員が主体となって構成されており、運営はボランティアが担っており、協働の推進の観点から評価することができる。</p> <p>当日はスタッフとして実行委員の他に生徒も加えており、普段は携わることのない運営側に参加することで、ボランティア精神を醸成する場を提供することは重要であり、開催の目的である青少年の健全育成に役立っている。</p> <p>また、出演生徒だけではなく、区民にもコンサートが浸透してきており、気軽に音楽が楽しめる場の提供となっているため、文化を通じた地域の活性化や元気あるまちづくりの推進に貢献している。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	音楽を通じた区民交流を推進し、地域の活性化を図るため、今後も継続して事業を実施していく。内容については、当日来場された方や出演生徒からのアンケート結果をもとに、コンサートをより充実させるために改善点等を検討していく。

区民会議からの主な意見

--